

# カラークリエイター プラス 子育てカラークリエイター

第8回

～ものづくり編～

スタンプを作ってプリントして遊ぼう！



染色の技法の一つに、ブロックプリントという  
木版を使ったプリントの技法があります。  
インドで生まれた伝統的な技法です。

インドのブロックプリントは特殊な下処理をして  
染料を化学反応で発色させるという技法です。  
とても可愛らしく、味のあるものですが  
再現するには色々な材料を揃えなくてははいけません。

そこで今回は、消しゴムや木の端材を使ってハンを作り  
顔料でプリントをして遊ぼうと思います。

材料費がかかったり、入手に手間がかかる心配がありません。

お子様と一緒に楽しむことも可能です。





木版を見てみよう

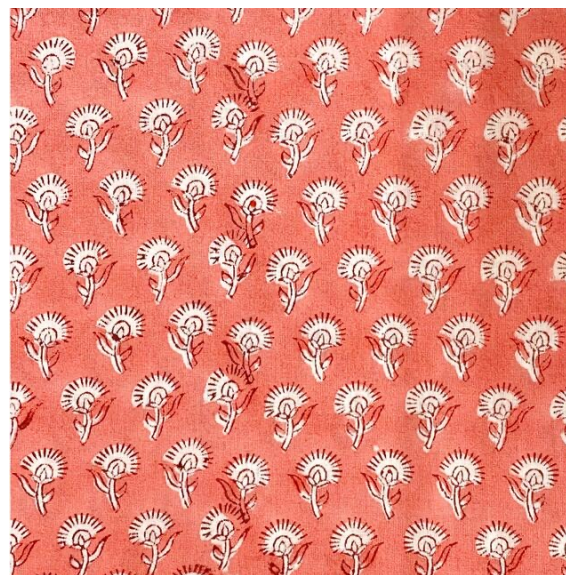




## ブロックプリントの生地









## ～ハンコ作り 用意するもの～

- 消しゴム
- トレーシングペーパー（クッキングシート）
- デザインカッター、彫刻刀



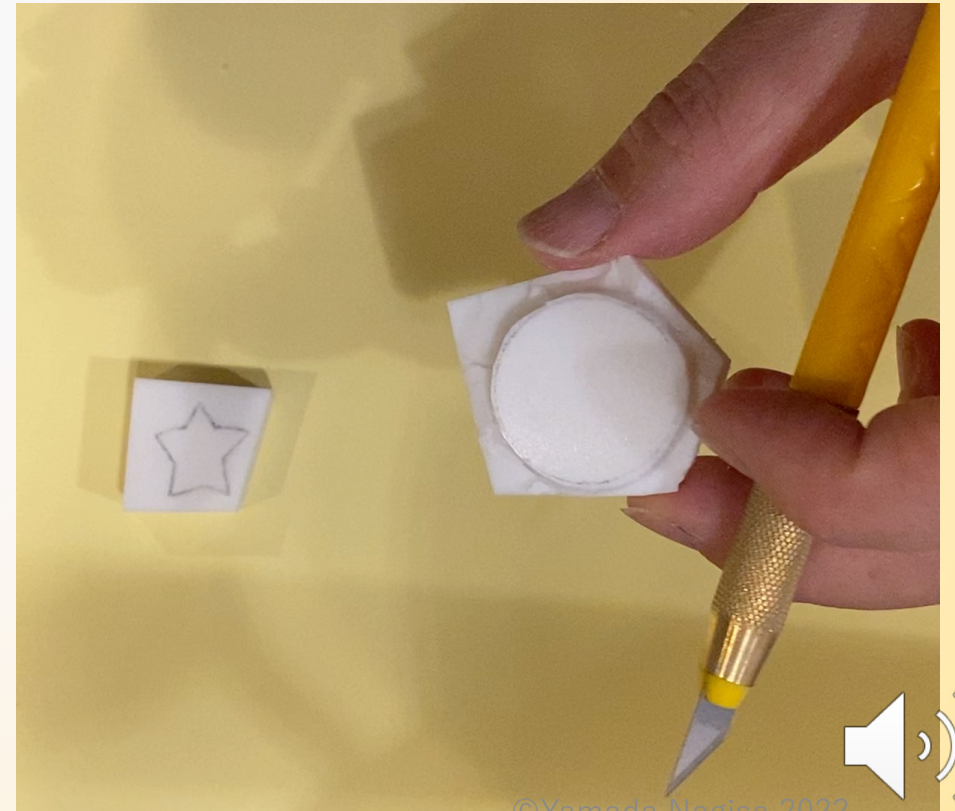
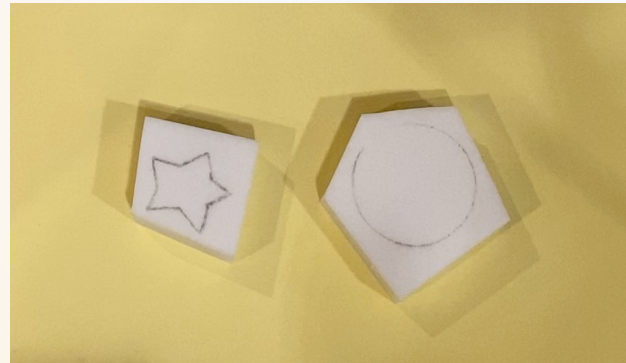
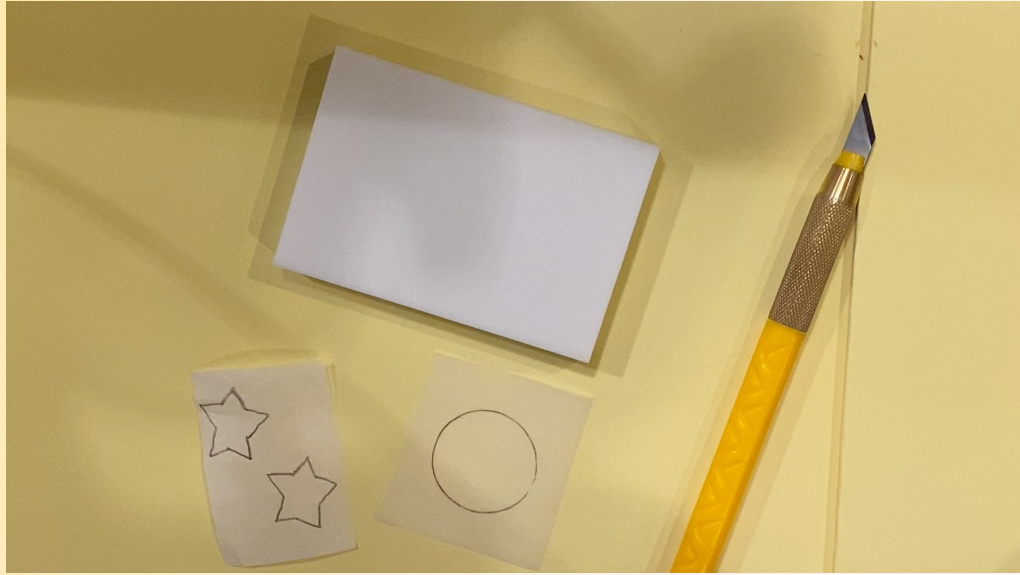


- 工程

- 図案をトレーシングペーパーに描く
- トレーシングペーパーから消しゴムに図案を写す
- カッターで切り抜く











## ～その他、ハンコに使えるもの～

- 木の端材
- 積み木
- 野菜(パプリカ、レンコン、さつまいも等)
- 手や足、指







## ～用意するもの～

- 生地（綿、麻）
- 消しゴム、木の端材
- 布用絵の具（またはアクリル絵具、木工用ボンド）
- バット
- 不要な生地
- 作業台







## 染める

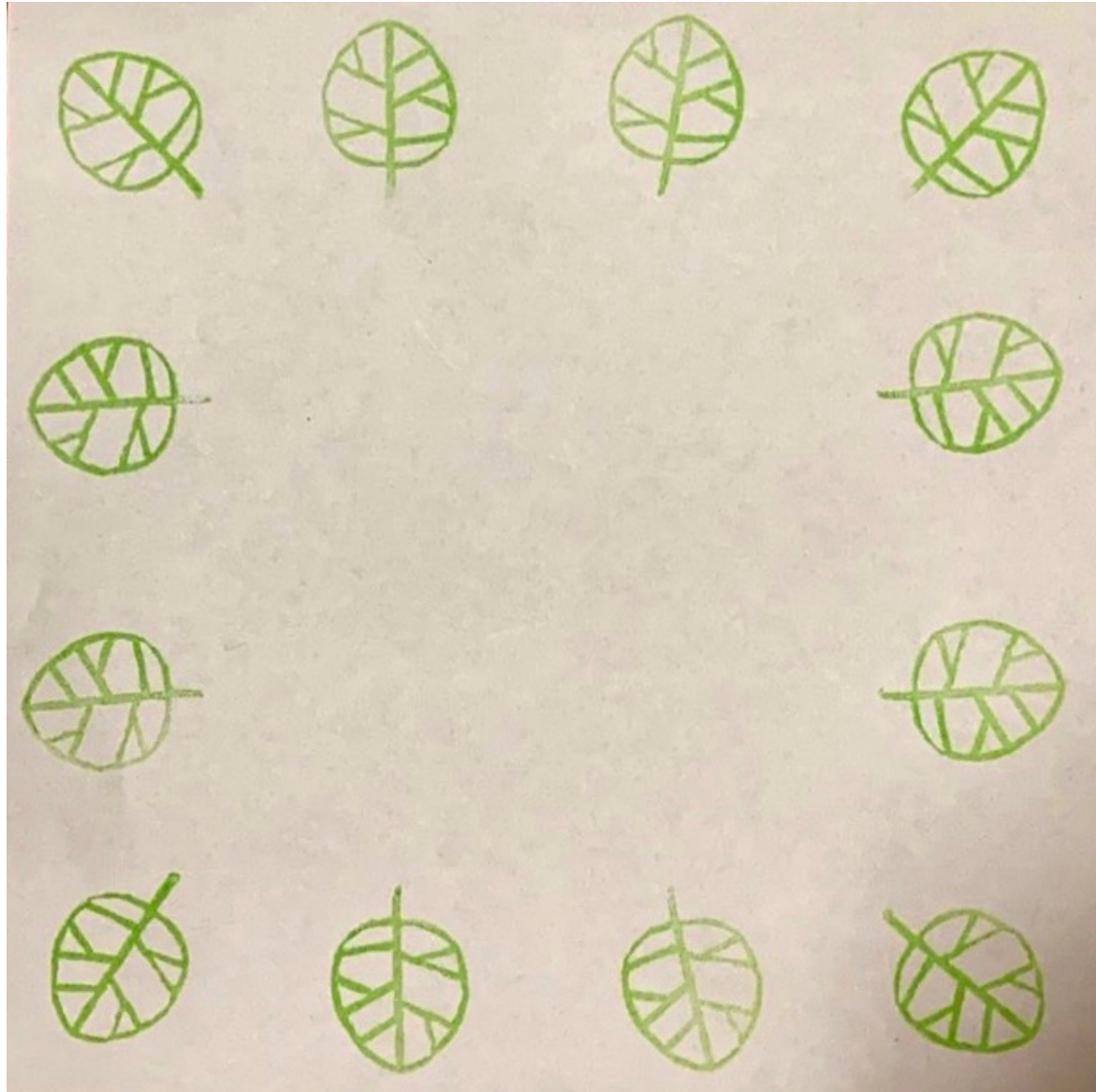
バットに出した絵具を直接消しゴムや木の端材に付け  
そのまま生地にスタンプしていきます。

- 絵の具が均一に乗った方がよければ端切れの上に絵の具を出し  
均一に染み込ませてスタンプ台の代わりにします。













## スタンプで体験できること

ブロックプリントは小さい図柄の集合で  
一つの作品を完成させることができます。  
単純な円や三角の集合で、お花や家を作ってみたり  
図柄を連続させて模様を作ったりすることが可能です。

小さい頃から図形を触って、三角の組み合わせで四角ができたり  
四角が並ぶとどうなるか。

遊びながら体感していくことで、将来図形に強くなります。

手型などをパネルやクッションにして、インテリアにしても素敵です。







次回は・・・

